

1. 科目名 (単位数)	体育 (幼) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2380 SJMP2280						
2. 授業担当教員	相原 豊								
4. 授業形態	実技を中心に実施し、適宜講義(実技で扱えない領域・保健領域)やディスカッション、グループでの発表を行う。	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>今の日本では生活習慣病の予防・改善や平均寿命の延伸などにより、運動やスポーツ、健康への関心が高まってきている。このことから、体育は生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するために重要な科目となっている。また、子どもの体力は低下しており、幼児や児童の体力向上のために体育は重要な位置づけとなる科目である。</p> <p>この授業では、小学校学習指導要領や幼稚園教育要領を踏まえ、教育現場で実際に指導を行える能力を学習していく。学習指導要領に応じて、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てることができるようになるとともに、健康の保持増進、体力の向上を養うための技能や知識を身につけ、指導できるようになることを目的とする。また、幼稚園教育の現場で行われる運動を指導できるようにすることを目的とする。</p> <p>・幼稚園「健康」・小学校学習指導要領における「体育」の目標、内容の概要を捉え、「健康」および「体育」の位置づけを理解する。さらに各領域におけるおもな運動を実技を通して経験することで、その運動特性を自身の身体で捉え、健康・体育指導に必要な最低限の技能を身につけることができるようにする。具体的には以下の①②に示す通りである。</p> <p>①正しい運動の方法を理解し、正しく運動ができるようにする。 ②ただし各種運動を指導できるためのポイントを押さえ理解する。</p> <p>・さまざまな子どもたちにおける個に応じた実技指導やその評価計画について理解することができるようにする。</p>								
8. 学習目標	<p>本講義を履修することによって以下の項目を達成することを期待する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>今日までの幼・小の体育授業の位置づけについて理解することができる。</li> <li>小学校体育指導に際しては、各運動領域における必要最低限の運動技能を身につけることができる。</li> <li>幼稚園教育の現場で行われる運動については、正しい指導ができるとともに基本的な運動の模範を見せることができるようにする</li> <li>体育指導を行う上での教師の留意事項や基本的な役割を身につけることができる。</li> </ol>								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>課題 1 各運動領域の指導ポイントと応用について解説する (レポート)</p> <p>課題 2 各運動領域の基本的な運動指導の方法を実践する (実技試験)</p>								
10. 教科書・参考書・教材	教科書：必要に応じて適宜資料を配布する								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>幼稚園教育の現場で行われる各運動領域における必要最低限の運動技能を身につけることができたか。</li> <li>幼稚園教育の現場で行われる運動については、正しい指導ができるとともに基本的な運動の模範を見せることができるようになったか。</li> <li>運動遊びの指導を行う上での教師の留意事項や基本的な役割を身につけることができたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1.授業への積極的参加態度</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>2.課題レポート</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>3.実技試験</td> <td>30%</td> </tr> </table> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。 以上の結果を総合して評価をする。</p>			1.授業への積極的参加態度	50%	2.課題レポート	20%	3.実技試験	30%
1.授業への積極的参加態度	50%								
2.課題レポート	20%								
3.実技試験	30%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>教員・指導者としての心構えで受講してください。</p> <p>実技等を行う場合はジャージで参加すること (ジーンズ、スウェット等は禁止)</p> <p>室内では体育館シューズが必要です。</p>								
13. オフィスアワー	講義内で周知します								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション 講義の目的と授業展開について	事前学習	幼稚園教育要領・学習指導要領に目を通す						
		事後学習	各要領の体育領域をまとめる						
第2回	体づくり運動 体ほぐしを含めて準備運動から運動遊び	事前学習	体づくり運動について予習しておく						
		事後学習	体づくり・ほぐし・準備運動をまとめる						
第3回	体操・集団行動	事前学習	体操・集団行動について予習しておく						
		事後学習	体操・集団行動についてまとめる						
第4回	陸上運動系 ○走・跳・投の運動	事前学習	走・跳・投の運動について予習しておく						
		事後学習	走・跳・投の運動についてまとめる						
第5回	陸上運動系のまとめ	事前学習	今まで学習した運動のポイントをまとめる						
		事後学習	指導プログラムを作成する						
第6回	器械運動系 ○マット運動	事前学習	マット運動について予習しておく						
		事後学習	マット運動についてまとめる						
第7回	器械運動系 ○跳び箱運動	事前学習	跳び箱運動について予習しておく						
		事後学習	跳び箱運動についてまとめる						
第8回	器械運動系 ○鉄棒運動	事前学習	鉄棒運動について予習しておく						
		事後学習	鉄棒運動についてまとめる						

第9回	器械運動系のまとめ	事前学習	今まで学習した運動のポイントをまとめる
		事後学習	指導プログラムを作成する
第10回	ボール運動系 ボールゲームの種類	事前学習	ボールゲームについて予習しておく
		事後学習	ボールゲームについて指導プログラム作成をする
第11回	ボール運動系 ゴール型ゲーム	事前学習	ゴール型ゲームについて予習しておく
		事後学習	ゴール型ゲームについて指導プログラム作成をする
第12回	ボール運動系 ネット型ゲーム	事前学習	ネット型ゲームについて予習しておく
		事後学習	ネット型ゲームについて指導プログラム作成をする
第13回	表現運動系 リズム遊び・表現遊び	事前学習	表現リズム遊びについて予習しておく
		事後学習	表現リズム遊びについてプログラム作成をする
第14回	講義：保健領域・水泳運動系・野外活動系	事前学習	水泳・野外活動について予習しておく
		事後学習	水泳・野外活動についてまとめる
第15回	講義：保健領域・水泳運動系・野外活動系 まとめ	事前学習	保健領域について予習しておく
		事後学習	保健領域についてまとめる
期末試験			
15. 実務経験を有する 教員特記事項	オリンピック体操選手としての出場経験、また体操教室（体操クラブ）の体操指導の実務経験を活かし、「7」に示す講義概要に則した講義を行う。		